

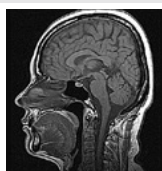
RT journal

JOURNAL OF THE ASSOCIATION OF RADIOLOGIC TECHNOLOGISTS

No. 53
2020.6

Contents

1. 巻頭言	今田直幸	1
2. 会告		2
3. 70周年記念式典報告		3
4. 第3回研修会報告		7
5. 第4回研修会報告		9
6. 統一講習会報告		11
7. 支部活動報告		13
8. 会員情報・互助会		16
9. 理事会議事録		18
10. 総会資料		23



公益社団法人 広島県診療放射線技師会 会誌
〒732-0826 広島市南区松川町1-15 ポエム松川303 TEL.FAX 082-263-7753
<http://www.urban.ne.jp/home/hart>

巻頭言

コロナ禍の向こう

(公社) 広島県診療放射線技師会
会長 今田 直幸



現在、2020年5月中旬です。ここ数か月に世界で起きている事態を誰が予測できたでしょうか。1918年からの2年間、スペイン風邪は世界人口約15億人中、2年間で5億近くの人々が感染し、2000万以上の人が亡くなっています。史上最悪のパンデミックと言われていました。それから100年後の現在、新型コロナウイルスの感染拡大により世界中で約420万6千人が感染し、死者は約28万7千人（米ジョンズ・ホプキンス大学調べ）に及ぶと報告されています。すべての人々の日常生活、経済活動に大きな影響を及ぼし多くの犠牲と悲しみをもたらしているコロナ禍です。日夜、最前線で感染患者さんの検査・治療にあたっている多くの診療放射線技師をはじめ医療従事者とその家族の方々に敬意と感謝を申し上げたいと思います。

本会におきましても、3月1日に予定していました創立70周年記念事業も大幅に縮小せざるを得なくなりました。予定していた為末大さんを招いての市民公開講座や祝賀会は中止し、式典のみの開催としました。中止に伴い多くの関係者の方にご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。式典では畦元将吾衆議院議員、松井一實広島市長、田中剛広島県健康福祉局長（広島県知事代理）、平松恵一広島県医師会会長、檜谷義美広島県病院協会会長、中澤靖夫日本診療放射線技師会会長、並びに各種医療職団体の代表、中四国の診療放射線技師会会長と多くの来賓の方にご参加いただくことができ、70周年の節目となる式典が厳かに開催できましたことを心より感謝申し上げます。

3月1日の式典終了後はますます新型コロナウイルスの感染拡大の脅威が増し、ついには政府による緊急事態宣言が出され日本国中が行動の自粛、ステイホームとなったことは周知のことと思います。

今回のコロナ禍で最も重視されたことは医療崩壊を起こさない事、死者を出さないためには重症患者の治療が円滑に行える体制を確保することです。PCR検査数が他国に比べ極端に少ないなどの問題も有りますが、死亡者数で比較するならば桁違いに少ないという状況は、日本の採った戦略を肯定的に見ることができるのではないでしょ

うか。しかし、現時点ではまだ真ただ中であり、今後の終息に向けてのシナリオは容易ではないと思われます。

向かうべき方向性は、ウイルスとの共存しつつ安全な社会を目指す、新しい生活スタイル、行動変容が求められることとなります。

社会構造も一国に偏ったサプライチェーン問題も認識されました。とりわけ医療福祉現場においてマスクやガウンといった医療資材が枯渇するという最悪の事態を経験したことにより、ポスト・コロナ時代では大きな生産システムの変化が求められると思います。

さて、我々診療放射線技師も同様にポスト・コロナ時代に必要な施設、装備、人員等の改善並びに行動変容が必要となります。今回、CT検査がクローズアップされました。多くの診療放射線技師が不安の中、業務を行ったのではないのでしょうか。診療放射線技師としての専門性だけでなく、医療人としての感染対策、スタンダード・プリコーションの十分な知識がなくては他の医療職種とチームで働くことは困難となります。専門性と同様に、医療職種として求められる共通の基礎知識を身に着けることが重要です。

医師の働き方改革に伴い、診療放射線技師の業務内容も着実に広がりを見せています。そのための統一講習会でもあった訳です。今後、造影剤注入のための静脈路のルート確保をはじめ侵襲性の高い医療行為も認められる可能性があります。私たちは、このような新たな業務拡大に対し尻込みすることなく、挑戦し獲得していくことで医療現場においてより活躍できる職種と進化することができます。将来も必要とされる職種であり続けるために、どうぞ皆さん積極的になってください。そして10年後、20年後の私たち診療放射線技師の姿をイメージして下さい。

最後になりますが、3期6年間広島県診療放射線技師会会長として務めさせていただきましたが、そろそろ新しく力強い推進力が必要な時期が来たと感じている次第です。これまでの会員の皆様の協力に心より感謝いたします。そして、これからも広島県診療放射線技師会の益々の発展、充実にご協力をいただけますようお願い申し上げます。

会 告

会員各位

公益社団法人広島県診療放射線技師会

会長 今田 直幸

令和元年度定時総会開催のお知らせ

公益社団法人広島県診療放射線技師会定款に基づき下記の通り総会を開催いたします。なお、今回の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、執行部、監事のみ参集して開催いたします。会員の皆さまは、委任状にてご参加下さい。総会議案はRTJournal No.53または、広島県診療放射線技師会ホームページ（<http://hiroshima-rt.com/>）でご確認下さい。

総会へのご意見・ご質問は、返信用はがき、または本会ホームページの「メールでのお問い合わせ」にご記入下さい。会員の皆さまは委任状にてご参加下さいます様お願いいたします。

記

日 時 令和2年6月28日(日) 15時～17時
場 所 TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前
カンファレンスルーム3B
広島県広島市南区大須賀町13-9

*必ず委任状を提出して下さい。

広島県診療放射線技師会創立70周年記念式典開催される

去る令和2年3月1日、ANAクラウンプラザホテル広島にて公益社団法人広島県診療放射線技師会の創立70周年記念式典を挙行了いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大規模な集会や会食が自粛されるなか、本会の70周年記念事業における市民公開講座、祝賀会等の企画は中止せざるを得なかったのは大変残念ではありましたが、感染防護に十分配慮した形で記念式典だけ執り行いました。

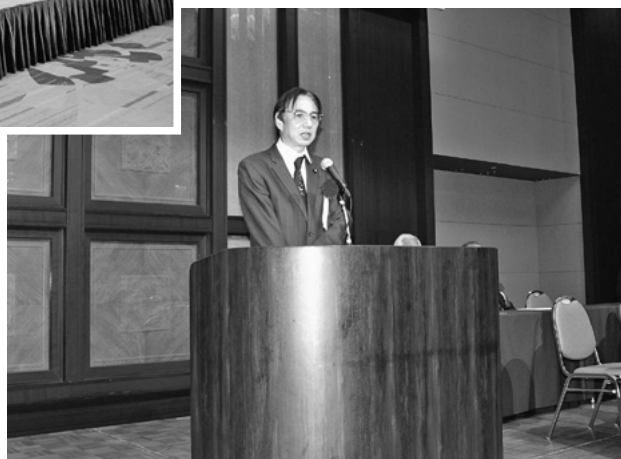
来賓として、畦元将吾衆議院議員、松井一實広島市長、田中剛広島県健康福祉局長（広島県知事代理）、平松恵一広島県医師会会長、檜谷義美広島県病院協会会長、中澤靖夫日本診療放射線技師会会長の方々にご来臨を賜り、加えて皆様より祝辞を頂戴いたしました。

また広島県の各種医療職種の代表の方々、中四国8県の診療放射線技師会会長の方々もご参加下さいました。

この式典を通じ、広島県診療放射線技師会の過去70年にわたる諸先輩方の御尽力に感謝するとともに、職能団体としてその専門性を活かし市民・県民の皆様の健康福祉に貢献できるよう、公益性の高い法人としてさらなる躍進を誓う節目となりました。

表彰式においては広島県知事表彰を3名の会員、広島病院協会表彰を5名、広島県診療放射線技師会会長表彰を5名の方々が受賞されました。誠にありがとうございました。

最後になりましたが、本式典にご多忙のなか遠方よりご参加下さいました中澤靖夫日本診療放射線技師会会長に心より深謝申し上げます。



畦元将吾衆議院議員



田中剛広島県健康福祉局長



松井一寛広島市長



平松恵一広島県医師会会長



檜谷義美広島県病院協会会長



中澤靖夫日本診療放射線技師会会長



賞を受ける花本監事



賞を受ける宮野音氏



賞を受ける亀山理事



今田会長

広島県知事表彰を受賞して

広島県診療放射線技師会 監事
国家公務員共済組合連合会 吉島病院
花本 隆秀

令和2年3月に開催された、広島県診療放射線技師会創立70周年記念式典において広島県知事表彰を受賞させていただきました。

広島県診療放射線技師会の役員として、平成18～29年度に広島中央支部の支部理事、平成30～31年度に監事の仕事をさせていただきました。支部の研修会の開催や福利厚生、広島県診療放射線技師会での活動、日放技へ報告する各種調査に携わってきました。

就任当初、広島中央支部の理事は私一人で担当していました。当支部は総合病院から個人病院、検診施設、自宅会員などさまざまな施設形態なので、支部主催の研修会の内容も幅広く、県主催のものとは重ならないように企画しました。また、多数の会員が在籍しており、技師会の行事やお知らせを幅広くお伝えするように努めました。幸い、支部の会員の方々は私の活動に好意的でした。皆様の協力のおかげでこれらの活動ができたものと感謝しております。

令和元年に診療放射線技師から初の国会議員が誕生し、今後も法律の改正やそれに伴うさまざまな事業が企画されると思われます。よりよい診療放射線技師会にするために、今後も微力ながら、貢献できればと考えています。

広島県病院協会長表彰を受賞して

市立三次中央病院 放射線科
宮野音 努

このたびは、70周年記念事業において広島県病院協会長表彰の場を頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。大変光栄に存じます。

私は、1990年4月に千代田中央病院、1991年に今の病院の前身である双三中央病院に就職して以来、今日までの間、いろいろな方に助けられ、職務に従事できていますこと、この場をお借りして感謝申し上げます。

技師会には就職と同年に入会し、県技師会・北部支部を通じ、知識の取得だけでなく人とつながることの大切さを教わることができました。恩返しの思いを持って、北部支部の役員を14年間、県の役員を6年間、微力ながら務めさせていただきました。

このような受賞の機会を頂きましたことは、皆様方の深いご厚情の賜物であると存じます。また広島県技師会が1949年の設立から、多くの諸先輩方のご尽力により、今日があることをあらためて知り、技師会の歴史を創られてこられた諸先輩方のお名前やお姿にも思いをはせております。

このたびの広島県病院協会長表彰を受けましたことを胸に、これからも、職場での仕事に励みながら、技師会の一員として技師会の発展に尽くしてまいりたいと存じます。

今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。今回は、誠にありがとうございました。

広島県診療放射線技師会長賞受賞にあたり

広島大学病院 診療支援部 画像診断部門
穂山 雄次

令和2年3月、70年周年記念式典において広島県診療放射線技師会長賞をいただきました。今田会長はじめ副会長、理事の皆様には感謝を申し上げます。

診療放射線技師として就職し20年以上になりますが、時代の流れの中で医療は進歩し画像診断は大きく変わってきました。その間、技師会の理事を務めさせていただき各地域の方々とお話しする機会も増え多くの先輩方からの考えを学びご指導をいただきました。

診療放射線技師の仕事は、放射線による医療機器等を用いて人体の内側を画像化して病気や異常を診断するための検査をする大切な役割があります。また、治療としての放射線の利用や病院内の医療情報の整備、医師の支援など多岐にわたります。昨年診療放射線技師を描いた漫画ラジエーションハウスが月9の実写ドラマ化され話題となりました。たくさんの方に認知された職業となりました。国民の安全と健康を守るための現在の医療において、社会の中での貢献できる診療放射線技師としてこれからも精進したいと思います。よろしくお願いします。

令和元年度 第3回研修会報告

医療法人社団おると会浜脇整形外科病院
放射線科 小村 哲也

令和2年1月18日(土)TKPガーデンシティ広島駅前大橋にて、令和元年度第3回研修会が開催されました。前半は研究発表会と題して、過去の学会等で発表された演題を一度に聞けるという、有意義な時間でした。

CT部門に始まり、MRI、治療、ミニレクチャーとして超音波の画像診断についても聞くことができました。各モダリティにおいて、幅広い内容の講演を聞くことができました。CTでの自動管電圧調整機能は、寝台の高さが影響し、その機能を使用すれば適切な線量が設定されるわけではないということなど、画質・線量に係る因子については、常に新しい情報に耳を傾けなければならないと思いました。

超音波のミニレクチャーでは、超音波といえばおなじみの広島通信病院の松原先生に「深部静脈血栓症の画像」と題して、画像と動画を交えて、詳しく楽しく講演して頂きました。改めて、超音波画像の素晴らしさ・奥深さを知ることができました。

後半は、福山市民病院の三村先生に「救急診療

におけるCT検査の役割を再考する」と題して講演して頂きました。他の検査も併用している場合には、設定SD値も変わってくること、脳梗塞のMRI時には大動脈解離の可能性があるため頸部MRAも撮像することなど、臨床で出会うことが少ない私だからこそ、大変勉強になりました。

特別講演は浜脇整形外科病院の谷田先生に「これだけは知っておきたい！～スポーツ障害・外傷の診断と治療～」と題して講演いただきました。様々なスポーツ外傷の発生機序や、トミー・ジョン手術における米国と日本の考え方の違いなど、普段耳にはするけど、詳しくは知らないという部分を理解することができ、大変興味深く聞かせていただきました。

今回の研修会は、学会形式による発表、ミニレクチャー、教育・特別講演と、内容も多彩で、会場はほぼ満員となっていました。まだまだ知らないことも多く、勉強不足を痛感させられる研修会でした。

最後に、講演いただいた講師の先生方、司会、座長の方、また参加された皆様お疲れ様でした。





谷田 玲 先生



永井 能規 先生



三村 尚輝 先生



舩田 隆則 先生



松原 進 先生



吉浦 貴之 先生



藤井 康志 先生



植木 大志 先生



井隅 美鶴 先生

令和元年度 第4回研修会報告

～広島県診療放射線技師会会員発表をさせていただきます～

福山市民病院 医療技術部 放射線科

齋藤 拓郎

令和2年2月11日(火)福山市医師会にて令和元年度 第4回研修会が開催されました。

(株)キュアホープ 代表取締役の島田 隆正先生には「医療放射線安全管理の動向と線量管理システム導入時のポイント」と題してご講演をいただきました。線量管理システムを構築するうえで必要な事柄から、法令についても詳細に教えていただきました。

続けて、川崎医療福祉大学 准教授の竹井 泰孝先生より「線量管理のQ&A」についてご講演いただきました。各施設からの線量管理の質疑応答から、線量管理の今後の動向など最先端の情報をご教授いただきました。

どちらの講演も来年度に向けた線量管理についてタイムリーな話題でもあり、研修会には100名以上の積極的な参加がありました。私自身も今回、学ばせていただいた知識で線量管理の見直しを行い、職場で活かしていきたいと思えます。

会員発表では「困った検査、解決できた検査」をテーマとして、各3施設より、若手の放射線技師より講演していただきました。

公立みつぎ総合病院の平林 裕也先生には高齢者のMRI検査のポジショニングについて講演されていました。できるだけ患者様が楽なポジショニングになるように考えられており、いつも使用しないコイルを用いて撮像ができるか実験されており、検討されていたことは私自身、経験したことがないことで、勉強になりました。

中国中央病院の天下 純貴先生は俯瞰的視野で見るCT撮影についての講演では、CT撮影時に偶発的に見つかる病変についてお話しいただきました。複数の臨床症例を拝見させていただき、中には、広い視野で撮影した画像を見ることで患者様の早期治療ができた臨床例があることを知りました。

福山市民病院からは私が講演をさせていただきました。私は夜間、当直中にドクターにCTの画

像所見の質問をされて答えることができないことがあったため、救急医療におけるCTの読影について発表させていただきました。勉強を通していくなかで、改めて放射線技師が読影の補助を行うことにより死につながる疾患の見落としを減少させることができるということを、発表を通して学ぶことができました。

困ったことを勉強して、学んだことを理解し、噛み砕いて発表という形でアウトプットすることで、より一層理解を深めることができたと感じています。不慣れな発表の場であったため、質疑応答に上手く応えることができるのか不安に思っていました。質疑応答を先輩からのアドバイスという形にさせていただいたことにより、ハードルが下がり発表しやすかったと感じました。発表に慣れておらず、臨床で困ったことがある若手の放射線技師の方はここで積極的に発表すれば、必ずスキルアップになるため、良い機会になるのではないかと思います。

特別講演では広島大学大学院の檜垣 徹先生にご講演いただきました。そこではCT最新技術の原理と臨床応用についてお話しいただきました。最先端の画像処理やDual Energy CTについてお話をいただきました。福山ではまだまだルーチンとしてDual Energy CTが普及されておらず、貴重なお話を聞くことができました。当院でもDual Energy CT撮影ができるようになったため、臨床で使えるようにする必要があると感じました。

若手の臨床的な講演から最先端の臨床応用の話まで、非常にバラエティに富んだ充実した研修会であったのではないのでしょうか。私自身も発表させていただきました。貴重な経験をすることができ、学ぶことが多くありました。司会、座長、演者の皆様、ありがとうございました。また、参加された皆様お疲れ様でした。



檀垣 徹 先生



齋藤 拓郎 先生



大下 純貴 先生



平林 裕也 先生



竹井 泰孝 先生



島田 隆正 先生

業務拡大に伴う統一講習会報告

広島県業務拡大に伴う統一講習会実習指導者
 広島県診療放射線技師会理事
 社会医療法人 千秋会 井野口病院 戸塚 功二

令和2年2月15日・16日に福山市の中国中央病院にて令和元年度5回目となる「業務拡大に伴う統一講習会」が開催されました。本講習会の参加者は45名でした。2日間にわたる講習を受講され無事に合格し、終了証とJART修了バッジを受けられました。

本講習会は、診療放射線技師法が平成26年6月18日に一部改正が行われ、平成27年4月1日に施行された診療放射線技師の業務拡大に伴うものです。具体的には、CT・MRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針・止血や、下部消化管検査の実施（肛門にカテーテルを挿入する行為も含めて）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのカテーテル挿入の業務です。業務拡大の条件として、それに伴う必要な知識、技能を習得することが努力義務として課せられたことは皆様もご存じのとおりです。

平成27年から5年にわたって続けられた統一講習会ですが、令和元年度で各県での開催は終了となります。広島県では、日本診療放射線技師会で指導者講習会を講習した5名の実習指導講師と会場係で運営してまいりました。多くの会員に受講いただくため、平成28年度からは年5回の開催を計画し、5年間の開催合計は21回となりました。開催場所の内訳は、広島市13回、福山市5回、

三次市1回、尾道市1回、東広島市1回で、会員の皆さまが受講しやすいように多くの地域で実施しました。日曜日・祝日の連休を積極的に活用し土曜日勤務の方にも受講いただけるように企画しました。その甲斐あって受講者の合計は629人（県外会員を含む）となり、多くの方々が受講できたものと考えます。遅ればせながら、受講された皆様お疲れ様でした。

私は、実習指導講師という形で統一講習会に関わらせていただきました。すでに業務に熟達され、経験豊富な皆さまに指導とはおこがましいと思いつながらの5年でしたが、個人的には学びの多い充実した時間を過ごさせていただきました。振り返ってみますと意外に早かったように思います。

最後になりましたが、本講習会には多くの方にご協力いただきました。開催会場として施設を提供いただいた方、設営や実習機材の運搬をお手伝いいただいた方、講習会に関わられたすべての方にこの場を借りて感謝申し上げます。

今回の統一講習会は、業務拡大に伴った一つのステップアップに過ぎません。今後も異なる形態での業務拡大に伴う統一講習会は続いていくと思われます。どうか会員の皆さまには今後の統一講習会にも積極的にご参加いただくことを祈念いたします。



座学の風景



静脈注射（抜針のみ）の実習風景



下部消化管検査実習風景



下部消化管検査・IGRT実習用のファントム



IGRT実習風景



BLSの実習風景



静脈注射（抜針のみ）実習用の模型「血管くん」



実習指導者による熱の入ったデモンストレーション（BLS）



実習指導者の面々

令和元年度支部活動報告

福山支部、尾三支部（東部地区）

公立学校共済組合 中国中央病院 畑山 秀貴

福山支部、尾三支部（東部地区）では次のとおり令和元年度研修会、行事を行いましたので報告します。

令和元年度 広島県東部地区診療放射線技師会 研修会

日 時：令和元年 7 月 7 日（日）13：00～16：10

会 場：興生総合病院 4 階 多目的ホール

総合司会 大田記念病院 藤原 賢治

13：00～14：00

司会 中国中央病院 畑山 秀貴

「改正医療法施行規則で求められる医療被ばく管理」

川崎医療福祉大学 医療技術学部

診療放射線技術学科 竹井 泰孝 先生

14：00～15：00

司会 中国中央病院 畑山 秀貴

「Deep Learning技術（AiCE）を搭載した最新型320列CT」

福山市民病院 三村 尚輝 先生

15：10～16：10

司会 福山市民病院 三村 尚輝

「上部消化管疾患と放射線画像との新しいかわり」

福山市民病院 外科 浅海 信也 先生

16：20～

第40回 広島県東部地区診療放射線技師会 総会

令和元年度 第4回 広島県診療放射線技師会 研修会

日 時：令和2年2月11日（火・祝日）

13：00～17：10

会 場：福山市医師会館 4 階 演習室

参加者：98名

総合司会 福山市民病院 三村 尚輝

座長 福山市民病院放射線科 下江 亘

13：00～14：00

「医療放射線安全管理の動向と線量管理システム導入時のポイント」

株式会社キュアホープ

代表取締役 島田 隆正 先生

14：00～15：00

「線量管理Q&A」

川崎医療福祉大学 医療技術部 診療放射線学科

准教授 竹井 泰孝 先生

座長 公立学校共済組合 中国中央病院

放射線科 中山 貴裕

15：10～16：10

会員発表 テーマ「困った検査、解決できた検査」

3 演題

「当院での高齢者の検査」

公立みつぎ総合病院 平林 裕也 先生

「俯瞰的視野でみるCT撮影～macro perspective～」

中国中央病院 大下 純貴 先生

「若手診療放射線技師のCT読影補助」

福山市民病院 斎藤 拓郎 先生

16：10～17：10

【特別講演】

「CT最新技術の原理と臨床応用について」

国立大学法人 広島大学大学院

医系科学研究科 先進画像診断開発講座

檜垣 徹 先生

令和元年度東部地区懇親会

日 時：令和2年2月11日（火・祝日）18：00～

会 場：ふなまちベイホール

各研修会において不手際、連絡不足などがあり、皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。

次年度も皆様に有用な研修会を企画していききたいと思います。よろしくお願いします。

呉支部

呉市医師会病院 山本 健之

令和元年度呉地区での活動状況をご報告いたします。

第128回 呉放射線技術研究会

日 時：令和2年2月8日（土）14：00～17：20

場 所：国立病院機構 呉医療センター
呉医療技術研修センター
参加者：52人
総合司会 呉医療センター 今井 英司

呉研60周年特別講演Ⅰ
座長 中国労災病院中央放射線部長
巻幡 弘
「放射線技師としての国政報告」
衆議院議員 畦元 将吾

呉研60周年特別講演Ⅱ
座長 呉医療センター 奥田 武秀
「水晶体の等価線量限度に関する法改正について」
長瀬ラングウ株式会社 石井 忠
「CT・MR最新情報提供」
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
MR営業部 高松 慎
CT営業部 六串 俊輔

会員発表
座長 呉医療センター 有江 隆一
「肝臓エコーで分かること」
呉医療センター 加野 瞳
「放射線測定器一括校正」
呉医療センター 真鍋 佑矢
「X線TV装置を用いた長尺撮影」
呉共済病院 河本 寛子

【60周年祝賀会】
場 所：かしま本店

呉放射線技術研究会は60周年を迎えました。
記念大会といたしまして畦元将吾衆議院議員をお迎えいたしまして講演していただき議員になったの活動などお話をいただきました。
また祝賀会では各施設との連携や今後の呉地区活動など意見交換し、とても盛り上がりました。

東広島・竹原支部

土肥整形外科病院 荒木 真悟

東広島支部の支部活動は次の通り行われました。

第1回研修会

日 時：令和元年11月29日(金)19時～
場 所：西条中央病院 2階会議室
参加人数：30人
研修会内容：
1. 「被ばく線量管理の背景と弊社線量管理アプリケーションのご紹介」
キヤノンメディカルシステムズ株式会社
営業推進部 野中 裕之 先生
2. 「骨密度測定の特長について」
株式会社日立製作所 画像診断営業部
藤本 翔 先生

来年4月から実施される線量管理義務化についての内容を含む講演に、参加者の皆さんが熱心に耳を傾けていました。



新年宴会

日 時：令和2年2月1日(土)19時～
場 所：kazumaru
参加人数：13人

多忙な時期のため参加者が少なかったのですが、小人数ながらも盛り上がりました。
令和元年度当番幹事施設（西条中央病院・県立リハビリテーションセンター）の皆様、どうもお疲れさまでした。

南東安芸支部

広島大学病院 穂山 雄次

南東安芸支部では、令和2年2月23日(日)に「第4回 MRの基礎を学ぼう！」のMR研修会

を広島大学病院にて開催しました。35名の参加者があり、京都や兵庫、島根からの参加者もみられました。

このMR研修会は、磁気共鳴専門技術者認定試験の過去問題からMRの基礎を学ぶ研修です。MRの原理や臨床、解剖、性能評価、安全性、アーチファクトについてなど一日で沢山の知識を学ぶことができます。講師は広島県の専門技術者の方をお願いしていますので、実際の日常の臨床にも役に立つ内容になっています。次年度も2月頃開催を予定しています。各施設における医療装置等の機器管理や安全な運用が我々診療放射線技師にも求められています。認定試験を目指す方もMRの勉強をもっとしたい方も是非ご参加ください。

北部支部

庄原赤十字病院 安井 哲士

日 時：令和元年4月19日(金)18:15～20:15

場 所：市立三次中央病院 健診センター
2階講堂

「ESUR造影剤ガイドライン」

— version9.0から10.0への変更点を中心に —
富士製薬工業株式会社 多々納 春男
「マンモグラフィの装置更新について」

市立三次中央病院 中村 真
フィルムディスカッション ～救急の頭部CT～
(進行) 市立三次中央病院 平田 彰

定期総会

出席者：24名

情報交換会

日 時：平成31年4月19日(金)20:30～

会 場：養老乃瀧 三次店

出席者：16名

第2回研修会

日 時：令和元年11月29日(金)18:30～20:10

場 所：市立三次中央病院 健診センター
2階講堂

「MRI検査で経験した金属吸着事故と対策」

市立三次中央病院 前崎 賢治

「クラウド／AIによる新しい医療ネットワーク」

遠隔画像診断センター エムネス

放射線診断専門医 島村 泰輝 先生

霞クリニック 診療放射線技師長

上田 英弘 様

フィルムディスカッション～救急の腹部CT～

(進行) 市立三次中央病院 平田 彰

(解説) 遠隔画像診断センター エムネス

放射線診断専門医 島村 泰輝 先生

出席者：22名

情報交換会

日 時：令和元年11月29日(金)20:30～

会 場：炉端かば 三次店

出席者：10名

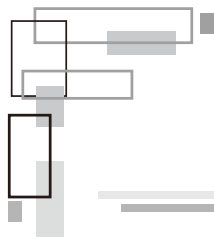
役員体制 (2019年4月～2020年4月)

役職	名前	所属	担当
支部長	安井 哲士	庄原赤十字病院	総括・理事会
副支部長	平岡 聡	JA吉田総合病院	学術
副支部長	平田 彰	市立三次中央病院	個人病院・福利厚生
庶務会計	藤本 耕平	庄原赤十字病院	庶務会計・連絡
会計監査	福重 栄治	三次地区医療センター	監査

今年度は非改選の年度であり、昨年度と同様の体制でスタートしました。

春季と秋季の年2回開催し、新しい試みとしてBIG PADを使用したフィルムディスカッションを行いました。秋季に於いては、遠隔画像診断センター エムネスさまのご厚意により、医療支援クラウドサービス【LOOKREC】を用いて行い、放射線診断専門医の島村先生より解説及びレクチャーもしていただきました。自施設以外の技師との症例検討は、恥ずかしさも感じられましたが、医師の着眼点や必要な画像など知れてとても有意義でした。

みよし運動公園で開催されたソフトボール大会では、ボランティアへの積極的な参加協力ありがとうございました。来年度も楽しく役に立つ研修会・懇親会を企画いたしますので、会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。



会員情報

新入会・再入会

和 田 拓 也	広島大学病院	古 田 明 大	広島市立安佐市民病院
小 川 健 太	医療法人あかね会土谷総合病院	森 賀 優 季	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック
武 内 雅 文	医療法人あかね会土谷総合病院	野 中 美 佐	本永病院
藤 野 圭 介	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	仲 山 志 帆	脳神経センター大田記念病院
石 田 和 弘	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	青 野 香 里	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック
岡 田 悠 希	広島市立安佐市民病院	朝比奈 有 紗	広島市立広島市民病院
長谷川 俊 輔	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	佐々木 玲	中国労働衛生協会
横 田 翔 吾	広島市立安佐市民病院	河 本 寛 子	呉共済病院
栗 原 凌 佑	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	水 田 春 花	呉共済病院
竹 治 友 道	庄原赤十字病院	中 森 恒 太	JA尾道総合病院
大 野 幹 太	山本整形外科病院	小 原 浩 己	八本松病院
下 本 麻 由	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	千 葉 大 輝	脳神経センター大田記念病院
植 木 大 志	広島大学病院	井 上 広 平	広島市立安佐市民病院
上 田 良	広島市立安佐市民病院	有 馬 秀 貴	荒木脳神経外科病院
前 実 咲	国家公務員共済組合連合会呉共済病院	谷 本 裕 隆	おると会浜脇整形外科病院
櫻河内 裕	広島市立安佐市民病院	山 根 梓	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック
品 川 陽 介	広島市立安佐市民病院	園 生 珠 希	おると会浜脇整形外科病院
吉 崎 惇 一	広島市立安佐市民病院	玉 井 絵里香	県立広島病院
懸 川 明 貢	広島大学病院	横 山 正 治	
宮 本 和 哉	庄原赤十字病院	高 波 宏 和	広島市立リハビリテーション病院
長 迫 翔 太	独立行政法人国立病院機構福山医療センター	野 島 洋 介	村上脳神経外科内科
原 田 美 聡	社会医療法人里仁会 興生総合病院	逸 見 茉 由	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
木 藤 卓 弥	福山市民病院	大 西 裕 之	広島市立広島市民病院
徳 田 愛 美	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	森 広 雅 史	マツダ病院
木 下 佳 祐	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	山 口 翔 平	おると会浜脇整形外科病院
荒 田 大 介	広島大学病院	安 田 千佳子	JA尾道総合病院
林 孝 幸	荒木脳神経外科病院	二本松 翔 太	おると会浜脇整形外科病院
角 田 愛 香	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	児 山 全	東広島記念病院
池 田 賢 司	荒木脳神経外科病院	森 江 博	マツダ病院
友 安 美 沙	広島大学病院	池 田 大 輔	脳神経センター大田記念病院
脇 坂 俊 亮	山本整形外科病院	西 川 剛 史	国立病院機構愛媛病院
永 田 美 帆	広島大学病院	出野上 直 弥	荒木脳神経外科病院
川 崎 絢 子	荒木脳神経外科病院	村 木 雅 人	脳神経センター大田記念病院
野 中 文	医療法人社団 葵会 広島平和クリニック	森 正 好	広島市立安佐市民病院
秦 岡 霞	荒木脳神経外科病院		
藤 光 慧 将	独立行政法人国立病院機構 広島西医療センター		

退会

沖田 泉
高橋 将大
宮川 昭允
奥家 美緒
簾畑 聖太郎
新見 雅行
高山 将一
北倉 江利子
滝口 裕章
児山 全
安藤 能孝
三宅 晴樹
浅原 徹
角田 愛香
桐本 実和
太呉 真理子
福永 智裕
島袋 貴史
前田 真由
大月 健矢

転出

見田 秀次 高知県へ
甲斐 勇二 東京都へ
渡邊 由紀 愛媛県へ
中元 裕子 岡山県へ
二渡 智英 鹿児島県へ
宇徳 友美 大阪府へ

転入

山田 峻大 岡山県より
釘村 匠 東京都より
松村 健太郎 神奈川県より
重常 杏奈 山口県より
杉山 哉子 東京都より
光井 晋平 山口県より
大原 健佑 愛媛県より

米谷 亮吾 島根県より
溝口 季穂 鳥取県より

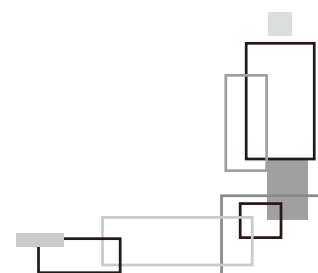
互助会

ご結婚おめでとうございます

碓井(山口)まどか JA広島総合病院
平賀(門田)侑子 福山市民病院
上西 貴大 広島市民病院
神岡 尚吾 広島大学病院
内藤 浩司 広島大学病院
碓井 翔平 東広島医療センター
上前 裕太 三次中央病院
三好 孝昌 福山市民病院
今西 愛 福山市民病院

ご出産おめでとうございます

松岡 至子 広島大学病院
秋里 琢馬 東広島医療センター
西山 彩香 西条ときわクリニック
福原 誠之 尾道市立市民病院
福原 千恵 尾道市立市民病院
積善 勇人 福山市民病院
太呉 真理子 尾道市立市民病院



理事会議事録

令和元年度 第4回理事会議事録

日 時：令和2年3月29日(日)15:00～17:00

場 所：広島大学病院 臨床管理棟3F2会議室

議 長 今田 直幸

議事録記載人 山下由香利

議事録署名人 戸塚 功二・中上 康次

出席理事 18名

今田 直幸・木口 雅夫

山口 裕之・戸塚 功二

小村 哲也・森 美由紀

外川 雅士・本城 圭祐

山下由香利・中上 康次

富久 昇・豊田 隆繁

小鷹狩賢司・穂山 雄次

大胡 文彦・畑山 秀貴

荒木 真悟・森本 章

出席監事 2名

石田 順一・花本 隆秀

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したので、本理事会は適法に成立した。

議事

(報告事項)

1. 創立70周年記念事業に関して

- ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため、市民公開講座、祝賀会は中止し式典のみ開催した。来賓として、畦元将吾衆議院議員、広島市長、広島県健康福祉局局長、広島県医師会会長、広島県病院協会会長、中澤日本診療放射線技師会会長の方々にご参加いただき、節目となる式典を無事終了することができた。(今田会長)
- ・記念事業積立金500万円中、会場費や料理キャンセル料等で合計320万程度の支出。残金200万円弱については、今回の事例は

特別な理由であり、項目変更の申請を行うか、70周年記念雑誌の制作費に当てる。

(今田会長)

- ・今回の事例より、高額の契約を行う場合はキャンセル料についての詳細を契約書等で把握しておく必要があるのではないか。

(森理事)

- ・会場担当の西丸理事は確認していたと思う。また、今回は直前まで会場や設定の変更等行ったが、ホテル側には柔軟に対応していただいた。(木口副会長)

2. ソフトボール大会関係の報告

- ・第46回ソフトボール大会は5月31日(日)、三次運動公園で予約は取れている。最低でも12チームの参加がなければ、費用的に開催が難しい。去年は企業から4チームの参加があったが、今の情勢では難しいのではないかと。(荒木理事)
- ・早めの判断が必要である。現状を考えると令和2年度は中止したほうがいいのではないかと。(石田監事)
- ・採決が行われ、全員挙手にて令和2年度の開催中止が承認された。

3. その他

1) MR研修会報告(穂山理事)

- ・令和2年2月23日にMR研修会を行った。参加者は35名、県外からの参加もあった。非会員が13名であった。
- ・非会員にはこの機会に入会していただくよう勧めてほしい。(今田会長)

2) 退会者、除籍者、会費未納者の報告(穂山理事)

別紙資料の通り。

- ・基本的には、支部長がそれぞれの支部の会員にアプローチして退会を再考してもらう

ようにしてもらいたい。統一講習会によって入退会者が増えているが、講習会が終了したことによって退会も増える可能性がある。(今田会長)

(審議事項)

1. 公益法人立入り検査結果に伴う諸規定の変更・追加について

- ・事務決裁規定を作成した、内容について意見を求む。(今田会長)
- ・副会長の専決事項が会長の専決事項とは別に決められている記載はおかしいのではないか。(石田監事)
- ・会長決裁事項に含める記載とする。(今田会長)
- ・挙手にて採決を行い、全員賛成にて承認された。

2. 令和2年度事業計画案

- ・基本事業である、年4回の研修会、支部研修会やその他の研修会、レントゲン週間等は例年通り開催予定。JARTの委託事業として、「業務拡大に伴う統一講習会」は終了したので基礎技術講習会を令和3年2月に開催予定である。内容は「一般撮影」。
- 現在、会場日程が未確定のものがあるので、本理事会で決定して欲しい。(今田会長)
- 1) フレッシュアップセミナー
8月30日
- 2) 第2回研修会
9月27日 広島赤十字・原爆病院
- 3) マネジメント研修会
10月10日 広島市民病院
- 4) 基礎技術講習会(一般撮影)
令和3年2月28日
- 協議の結果、以上の日程とする。
- ・6月28日の第1回研修会はコロナウイルスの関係上、開催できるかどうか分からないが、研修会の企画は立てておくこととする。

る。その際、講師はできるだけ広島県内の方をお願いしたほうが良い。(今田会長)

- ・採決に移り、挙手にて全員の賛成が得られ承認された。

3. 令和2年度事業予算案について

- ・昨年度の実績を反映させて作成しているが、昨年同様に支出すると記念事業の積立が困難になる恐れがある。研修会費用等の見直しが必要になるかもしれない。(森理事)
- ・研修会、レントゲン週間等々、事業ごとに使用できる予算を明確化した方が事業を進めやすい。(石田監事)
- ・新年度事業が開始するまでにもう少し整理した資料を作成する。(森理事)
- ・挙手にて採決に移り、全員賛成にて承認された。

4. 役員改選について

- ・令和2年度は役員改選の年であり、別紙のとおりホームページに告示してある。立候補の締切日を確認のうえ事務所へ郵送して欲しい。地域理事で交代を予定されている支部は現支部長の承認が必要となるので書類を作成すること。法人登記に関して必要書類の確認は司法書士事務所に確認しておく。(今田会長)
- ・外川理事、豊田理事、本山理事(欠席)、西丸理事(欠席)花本監事が退任の希望を表明された。
- 本議案は伝達のみとする。

5. その他

- ・日本診療放射線技師連盟から各県の技師会に対し寄付を募っている。広島県から6万円の寄付を行いたい。概要としては、全県から500万円程度の寄付を募り、連盟の活動資金とする予定。広島においては畦元衆議院議員の応援活動にも連盟の広島県支部

を經由して活動資金とすることが可能となる。6万円の寄付を承認いただきたい。

(今田会長)

挙手にて賛否を問う、全員賛成にて承認された。

(伝達事項)

- ・研修会等で講師との会食を行った際には必ず人数を報告して欲しい。また、立替経費支払は高額なもの以外は月に1回としたい。(森理事)

令和元年度 第5回理事会議事録

日 時：令和2年5月17日(日)15:00～17:00

場 所：Web会議

議 長 今田 直幸

議事録記載人 木口 雅夫

議事録署名人 山口 裕之・戸塚 功二

出席理事 18名

今田 直幸・木口 雅夫

山口 裕之・戸塚 功二

西丸 英治・森 美由紀

外川 雅士・本城 圭祐

山下由香利・中上 康次

荒木 真悟・豊田 隆繁

小鷹狩賢司・穂山 雄次

大胡 文彦・畑山 秀貴

出席監事 2名

石田 順一・花本 隆秀

以上の通り、理事の過半数に相当する理事が出席したので、本理事会は適法に成立した。

議事

(報告事項)

1. 第36回日本診療放射線技師学術大会について

2020年10月23～25日に仙台市で開催予定の第36回日本診療放射線技師学術大会は、5月

21日頃開催の理事会にて開催の是非が決定予定である。延期の場合は、令和3年2月11～13日開催を予定している。その際には、現在応募されている演題は有効とし、再度演題募集とする。

2. 中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT) 2020開催について

2020年11月17、18日に鳥取県米子市で開催される中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT)2020は、5月30日に開かれる中四国診療放射線技師会会長会議で開催について検討し、開催または延期が決定される。

3. 日本診療放射線技師会定時総会について

2020年6月6日に開催される日本診療放射線技師会定時総会は、書面採決によって開催が決定した。総会資料は5月18日頃代議員へ郵送予定である。

4. 「21世紀、県民の健康と暮らしを考える会」の開催について

21世紀、県民の健康と暮らしを考える会の令和2年度の開催中止となった。

(審議事項)

1. 定款改正について

今田会長から定款改正についての説明があった。現在の定款では、代表理事変更の度に法務局への申請ならびに議事録に出席理事全員の実印の押印、印鑑証明を添える必要がある。このため、資料のように定款を変更することによって諸手続きの必要なくなる。手続きの簡略化として司法書士事務所より提案があったため、定款改正を提案する。

《現行定款》

(議事録)

第37条 理事会及び常務理事会の議事については、法令で定めるところにより、次の事項を記載した議事録を作成しなければなら

ない。

- 3 議事録には、議長、出席した理事のうちから選出された議事録署名人2人及び監事が記名押印しなければならない。

《変更後定款》

- 3 議事録には、出席した代表理事、理事のうちから選出された議事録署名人2人及び監事が記名押印しなければならない。

「令和元年度第5回理事会決議フォーム」にてメール会議審議を行った。賛成多数で本理事会で定款改正が決議された。

次の定時総会での審議事項となった。

2. 令和元年度広島県診療放射線技師会定時総会開催について

令和元年度の広島県診療放射線技師会定時総会は、6月28日(日)15～17時にTKPガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 カンファレンスルーム3Bで開催を予定している。新型コロナウイルス感染拡大防止のため36名程度の大きさの会議室を使用し、机・椅子の配置はスクール形式で行う。今後の予定として、委任状を定数以上集め、必要最小限の理事・監事・選挙管理委員で開催する。会員の参加については、委任状で参加していただくように開催案内に記載する。委任状は、総会資料が記載された会誌とは別とし、例年通り往復はがきを郵送する。

理事の交代を予定しているが、新規に理事に立候補されている方については、出席を依頼する。ただし、任意とする。

定時総会終了後に令和2年度第1回理事会を会場で開催し、新規役員を決定する。

「令和元年度第5回理事会決議フォーム」にてメール会議審議を行った。賛成多数で定時総会の開催が決議された。

3. 令和元年度事業報告

今田会長から資料に基づき令和元年度の事業報告、令和2年度の事業計画案について説

明があった。山口副会長からマネジメント研修会の記載が抜けているとの指摘があり、追記することとなった。

「令和元年度第5回理事会決議フォーム」にてメール会議審議を行った。賛成多数で令和元年度事業報告が決議された。

4. 令和元年度収支報告

森財務担当理事から令和元年度の収支決算報告についての説明があった。創立70周年事業で使用できなかった経費については、次年度に繰越とし、創立70周年記念誌作成用の費用として次年度予算に計上する予定である。令和2年度の収支予算書は、本理事会で承認され次第、網本行政書士に収支決算書を提出して予算書作成していただく。

「令和元年度第5回理事会決議フォーム」にてメール会議審議を行った。賛成多数で令和元年度収支報告が決議された。

5. 令和元年度表彰者

木口副会長より令和元年度の表彰者候補の選定理由の説明があった。日本診療放射線技師学術大会ならびに中四国放射線医療技術フォーラムの今年度、過去開催の発表実績から1名の楨殿賞と6名の奨励賞候補者を推薦した。また、広島県診療放射線技師会の会務に永年尽力された2名の石井賞候補者を推薦した。

「令和元年度第5回理事会決議フォーム」にてメール会議審議を行った。賛成多数で令和元年度表彰者が決議された。

表彰者は下記の方に決定した。

石井賞

花本隆秀 吉島病院

外川雅士 アマノリハビリテーション病院

楨殿賞

永井能規 福山市民病院

奨励賞

井隈美鶴 マツダ病院

前崎賢治 市立三次中央病院
松浦貴明 広島がん高精度放射線治療センター
三上富生 原田病院
森 昭文 広島大学病院
吉田理人 土谷総合病院

6. その他

今後の研修会の開催について木口副会長から事前検討が必要であるとの提案があった。Web開催、ライブ配信などを含めて今後どのような形態で開催できるか検討していくこととなった。

令和元年度 公益社団法人広島県診療放射線技師会定時総会

次 第

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事運営委員選出
5. 議事
 - 1) 令和元年度 事業報告
 - 2) 令和元年度 決算報告書
 - 3) 令和元年度 監査報告
 - 4) 令和2年度 事業計画
 - 5) 令和2年度 予算計画書
 - 6) 定款改正
6. 議長団解任
7. 表彰
 - 1) 石井賞
 - 2) 槇殿賞
 - 3) 奨励賞
8. 閉会の辞

石井賞	吉島病院 アマノリハビリテーション病院	花本 隆秀 外川 雅士
槇殿賞	福山市民病院	永井 能規
奨励賞	マツダ病院 市立三次中央病院 広島がん高精度放射線治療センター 原田病院 広島大学病院 土谷総合病院	井隈 美鶴 前崎 賢治 松浦 貴明 三上 富生 森 昭文 吉田 理人

公益社団法人 広島県診療放射線技師会 令和元年度 事業報告

総 括

令和元年度も予定した事業計画の通り年4回の研修会、各支部での研修会、胃透視勉強会、レントゲン週間イベント、マネジメント研修会等の主な事業は無事遂行することができました。各研修会の内容は別項に示すとおりです。令和2年度より開始される医療放射線安全管理体制に関する内容が多く取り入れられた内容となりました。講演いただいた講師の先生方、参加いただいた会員の皆様のご協力に感謝いたします。

ご存知のとおり、令和2年に入り新型コロナウイルスの感染拡大という想定外の事態に見舞われ、研修会や会合の開催が自粛されることとなりました。3月1日にANAクラウンプラザホテル広島にて広島県診療放射線技師会創立70周年記念事業として市民公開講座・式典・祝賀会を開催する予定でしたが、誠に残念ながら大幅に縮小せざるを得なくなりました。為末大さん、栗井和夫広島大学病院放射線診断科教授を招いての市民公開講座、及び祝賀会の中止にあたっては多くの方々にご迷惑をお掛けしました、この場を借りてお詫び申し上げます。ウイルス感染防止に十分配慮しながら、式典のみ執り行いました。当日は畦元将吾衆議院議員、松井一實広島市長、田中剛広島県健康福祉局長（広島県知事代理）、平松恵一広島県医師会会長、檜谷義美広島県病院協会会長、中澤靖夫日本診療放射線技師会会長の方々にご来臨を賜り、加えて皆様より祝辞を頂戴いたしました。また広島県の各種医療職種の代表の方々、中四国8県の診療放射線技師会会長の方々もご参加下さいました。ご参加いただいたすべての方に感謝申し上げます。

令和元年の当初予算として創立記念事業費の積立金が約500万円となっていますが、事業規模の縮小により次年度への繰越となります。次年度の支出となりますが創立70周年記念誌の作成費として支出し、その目的範囲で使用することによって公益法人会計に適應するよう努めたいと考えます。

令和2年4月までに予定されていたエコー塾、他関連する研修会等、いくつかの事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されていま

す。次年度に開催できるよう準備して参ります。

日本診療放射線技師会（JART）の委託事業として、厚生労働省指定の「業務拡大に伴う統一講習会」を県内で5回開催いたしました。本事業も令和元年度で終了いたしました。これまでに約6割の会員に受講いただきました。会員の皆様並びに5年間にわたり当講習会実施に尽力いただいた実習指導員の理事の方に心より感謝申し上げます。事業内容の詳細は以下に示す通りとなります。

公益目的事業

公1 体験活動・講演・相談等による県民への知識の普及啓発活動

体験活動

令和元年11月3日（日）シャレオ中央広場にてレントゲン週間イベントを開催した。医療で 사용되는放射線の理解、各種検査の解説等をパネル展示で紹介した。骨密度測定の実験（約300名実施）、模型を用いた乳房触診の実験の実施。

相談活動

上記のレントゲン週間イベントに際し、医用被ばく・放射線を用いた検査に関する相談コーナーを設けた。

公2 研修・セミナー等による放射線技術学の向上のための事業

研修会事業

第1回研修会

日 時：令和元年6月16日（日）10：00～15：00

開催場所：広島大学霞キャンパス

臨床管理棟3階大会議室

1. 「被ばく線量管理システム構築のノウハウ法令含」

株式会社キュアホープ（EIZO被ばく線量管理システムDOSE MANAGER開発元）

島田 隆正

2. 「当院での線量管理の現状と課題」

広島市立舟入市民病院 今井 康介

3. 「医療被ばくの最適化と線量管理に向けて」
～CT撮影による被ばく線量評価システムWAZA-ARIと医療被ばく線量登録コンソー

シアムMEDRECの紹介～

放射線医学総合研究所 古場 裕介

4. 「患者さんに優しいX線撮影法」～教科書に載っていない撮影技術と補助具の活用術～
三菱神戸病院 高井 夏樹

第2回研修会

日 時：令和元年9月1日(日)13:00～16:45
開催場所：広島赤十字・原爆病院 東棟9階 講堂

1. 「造影剤腎症に関する各種ガイドラインを中心に」

バイエル薬品株式会社 ラジオロジー領域
メディカルサイエンスリエゾン 山田真由美

2. 「富士フイルムが目指す画像診断の未来」
富士フイルムメディカル株式会社 営業本部
ITソリューション事業部 河野 安宏

3. 「ラジエーションハウス誕生秘話～16年間のキセキ～」

東京大学大学院総合文化研究科
進化認知科学研究センター 特任助教
五月女康作

4. 「前立腺癌の診断と治療～ロボット支援手術～」
地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立安佐市民病院 泌尿器科部長
望月 英樹

第3回研修会

日 時：令和2年1月18日(土)13:30～17:30

場 所：TKPガーデンシティ広島駅前大橋

1. 会員による学術発表会

X線CT

Dual energy CTにおける仮想単色X線画像の
解像特性の評価

広島大学病院 植木 大志
小児CT検査におけるATCMを最適化するための
手法について

土谷総合病院 吉浦 貴之
肝ダイナミックCTにおける肝硬変が肝造影効果
に与える影響について

土谷総合病院 外田 隆則

MR

SMS (Simultaneous Multi Slice) におけるチャ
ンネル数がSNR, ADC値に及ぼす影響について

福山市民病院 永井 能規
非造影下肢MRA検査における時間短縮および
画質改善の検討

マツダ病院 笠井 杏美

治療

体表面光学式モニタリングシステムを使用した
深吸気呼吸停止下照射法の評価

中国中央病院 藤井 康志

ミニレクチャー

深部静脈血栓症の画像

広島通信病院 松原 進

2. 「救急診療におけるCT検査の役割を再考する」
～ X線CT撮影における標準化について～

福山市民病院 医療技術部 放射線科
次長 三村 尚輝

3. 「これだけは知っておきたい！～スポーツ障
害・外傷の診断と治療～」

おると会 浜脇整形外科病院
診療部長 谷田 玲

第4回研修会

日 時：令和2年2月11日(火・祝日)

13:00～17:00

場 所：福山市医師会館 4階 講義室

1. 「医療放射線安全管理の動向と線量管理シ
ステム導入時のポイント」

株式会社キュアホープ
代表取締役 島田 隆正

2. 「線量管理Q&A」

川崎医療福祉大学 医療技術部
診療放射線学科 准教授 竹井 泰孝

3. 「会員発表 困った検査、解決できた検査」

「当院での高齢者の検査」

公立みつぎ総合病院 平林 裕也
「俯瞰的視野でみるCT撮影
～ macro perspective ～」

中国中央病院 大下 純貴
「若手診療放射線技師のCT読影補助」

福山市民病院 齋藤 拓郎

4. 「CT最新技術の原理と臨床応用について」

国立大学法人 広島大学大学院
医系科学研究科 先進画像診断開発講座
檜垣 徹

マネジメント研修会

日 時：令和元年10月5日(土)

場 所：広島市立広島市民病院10F大講堂

第29回消化管撮影研究会

日 時：令和元年7月27日(土)

場 所：広島大学病院 臨床管理棟3F大会議室

1. 「撮影法ブラッシュアップPart 2 ～十二指腸に流さないローリング法を中心に～」
日本鋼管福山病院 石川 祐三
2. 「HP除菌時代の胃X線トピックス～除菌後胃癌からA型胃炎・鳥肌胃炎まで～」
岡山健康づくり財団 中島 明久
3. 「どう撮る？ 追加撮影～私の追加撮影法～」
淳風会健康管理センター 大角 博久

第30回消化管撮影研究会

日 時：令和2年1月25日（土）

場 所：日本鋼管福山病院 3F講義室

1. 「アンサーパッドで目合わせ」
Part 1 やってみようHP感染診断
Part 2 やってみようカテゴリー分類
日本鋼管福山病院 石川 祐三
2. 「中垣流 透視観察を重視した撮影法」
広島県地域保健医療推進機構 中垣 健治

支部開催研修会

（内容については支部活動報告に記載）

- ・東部支部（尾三支部）
日時／場所 令和元年7月7日 興生総合病院
- ・呉支部
日時／場所 令和2年2月8日
国立病院機構 呉医療センター
- ・東広島支部
日時／場所 令和元年11月29日 西条中央病院
- ・北部支部
日時／場所 令和元年4月19日
市立三次中央病院
日時／場所 令和元年11月29日
市立三次中央病院
- ・南東安芸支部
日時／場所 令和2年2月23日 広島大学病院

公3 放射線に関する情報を出版等により提供を行う

会誌発行 2回
研修会案内・お知らせ 4回
メールマガジン発行 14回

収益事業

なし

表彰事業

石井賞	2名		
	吉島病院	花本 隆秀	
	アマノリハビリテーション病院	外川 雅士	
槇殿賞	1名		
	福山市民病院	永井 能規	
奨励賞	6名		
	マツダ病院	井隈 美鶴	
	市立三次中央病院	前崎 賢治	
	広島がん高精度放射線治療センター	松浦 貴明	
	原田病院	三上 富生	
	広島大学病院	森 昭文	
	土谷総合病院	吉田 理人	

互助会事業

結婚祝い 9件
出産祝い 7件
弔慰金 4件

庶務報告

1) 会員増減状況

会員種別	平成31年 3月31日	増				減						令和2年 3月31日
		新入会	再入会	転入	計	退会	転出	除籍	死亡	過去退会	計	
名誉会員	0											0
正会員	736	67	4	9	80	20	6	5 ^{注)}	0	0	27	785

注) 日本診療放射線技師会「入退会等会員籍の管理に関する規定」第10条により3年間の会費未納により除籍扱いになった人数

2)

総 会		令和元年6月16日	広島大学病院
研 修 会	第1回	令和元年6月16日	広島大学病院
	第2回	令和元年9月1日	広島赤十字・原爆病院
	第3回	令和2年1月18日	TKPガーデンシティ広島駅前大橋
	第4回	令和2年2月11日	福山市医師会館

社会活動

レントゲン週間イベント	令和元年11月3日	シャレオ中央広場	
70周年記念式典	令和2年3月1日	ANAクラウンプラザホテル広島	
理 事 会	第1回	令和元年6月16日	広島大学病院
	第2回	令和元年9月1日	広島赤十字・原爆病院
	第3回	令和元年11月24日	広島大学病院
	第4回	令和2年3月29日	広島大学病院
	第5回	令和2年5月17日	オンラインにて
ソフトボール大会	令和元年5月19日	みよし運動公園	
広島県診療放射線技師会誌	RT journal	2回発行	
	研修案内・お知らせ	4回発行	
	メールマガジン	14回発行	

貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,135,355	3,459,945	675,410
未収会費	600,000	460,000	140,000
未収入金	30,000	10,000	20,000
仮払金	0	148,278	-148,278
流動資産合計	4,765,355	4,078,223	687,132
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
70周年記念事業積立資産	0	5,000,000	-5,000,000
75周年記念事業積立資産	1,794,118		1,794,118
80周年記念事業積立資産	300,000		300,000
(3) その他固定資産			
敷金	330,000	330,000	0
固定資産合計	4,424,118	7,330,000	-2,905,882
資産合計	9,189,473	11,408,223	-2,218,750
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	106,188	107,115	-927
預り金	0	20,222	-20,222
2 固定負債	0	0	0
負債合計	106,188	127,337	-21,149
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄付金	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(2,000,000)	(2,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	7,083,285	9,280,886	-2,197,601
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(2,094,118)	(5,000,000)	-2,905,882
正味財産合計	9,083,285	11,280,886	-2,197,601
負債及び正味財産合計	9,189,473	11,408,223	-2,218,750

貸借対照表内訳表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	2,617,868	645,622	871,865	4,135,355
未収会費	600,000	0	0	600,000
未収入金	30,000	0	0	30,000
仮払金	0	0	0	0
流動資産合計	3,247,868	645,622	871,865	4,765,355
2 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	0	2,000,000	0	2,000,000
(2) 特定資産				
75周年記念事業積立資産	1,782,885	0	11,233	1,794,118
80周年記念事業積立資産	300,000			300,000
(3) その他固定資産				
敷金	198,000	0	132,000	330,000
固定資産合計	2,280,885	2,000,000	143,233	4,424,118
資産合計	5,528,753	2,645,622	1,015,098	9,189,473
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	56,188	0	50,000	106,188
預り金	0	0	0	0
2 固定負債	0	0	0	0
負債合計	56,188	0	50,000	106,188
III 正味財産の部				
1 指定正味財産				
寄付金	0	2,000,000	0	2,000,000
指定正味財産合計	0	2,000,000	0	2,000,000
(うち基本財産への充当額)	0	2,000,000	0	2,000,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0	0
2 一般正味財産	5,472,565	645,622	965,098	7,083,285
(うち基本財産への充当額)	0	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	2,082,885	0	11,233	2,094,118
正味財産合計	5,472,565	2,645,622	965,098	9,083,285
負債及び正味財産合計	5,528,753	2,645,622	1,015,098	9,189,473

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	300	100	200
受取会費			
正会員受取会費	7,630,000	7,410,000	220,000
事業収益			0
研修会参加費収益	119,000		
会誌広告掲載収益	580,000	780,000	-200,000
受取補助金等			0
広島県補助金収益	70,000	70,000	0
受取寄附金			0
受取寄附金	0	0	0
雑収益			0
受取利息	20	379	-359
雑収益	504,799	462,594	42,205
経常収益計	8,904,119	8,723,073	62,046
(2) 経常費用			
事業費	(6,857,457)	(5,416,542)	(1,440,915)
給与手当	170,000	170,000	0
福利厚生費	88,640	113,671	-25,031
旅費交通費	380,440	238,260	142,180
通信運搬費	292,794	199,163	93,631
消耗品費	38,902	121,820	-82,918
印刷製本費	1,819,660	2,025,748	-206,088
賃借料	908,940	917,022	-8,082
諸謝金	580,976	710,429	-129,453
表彰費	95,965	0	95,965
支払手数料	18,487	45,852	-27,365
支払負担金	30,000	30,000	0
支払寄附金	30,000	265,873	-235,873
交際費	53,375	24,362	29,013
会議費	100,382	17,120	83,262
支払会費	232,900	230,200	2,700
貸倒会費	140,000	242,000	-102,000
雑費	58,881	65,022	-6,141
70周年記念事業費			
旅費交通費	195,510	0	195,510
通信運搬費	72,512	0	72,512
消耗品費	37,770	0	37,770
印刷製本費	19,440	0	19,440
広告宣伝費	734,250	0	734,250
賃借料	669,300	0	669,300
支払手数料	1,225	0	1,225
会議費	2,808	0	2,808
雑費	84,300	0	84,300
管理費	(4,244,263)	(2,971,384)	(1,272,879)
給与手当	334,000	331,000	3,000
旅費交通費	340,430	276,900	63,530
通信運搬費	158,503	116,029	42,474
消耗什器備品費	0	584,672	-584,672
消耗品費	52,461	28,637	23,824
修繕費	90,160	0	90,160
印刷製本費	271,604	130,592	141,012
賃借料	145,908	116,640	29,268
光熱水料費	54,087	50,828	3,259
地代家賃	660,000	660,000	0
交際費	37,705	32,400	5,305
会議費	28,614	1,606	27,008
租税公課	21,600	21,000	600
支払報酬料	579,458	553,246	26,212
支払手数料	3,706	67,834	-64,128
支払寄付金	80,000	0	80,000
70周年記念事業費			
旅費交通費	8,800	0	8,800
通信運搬費	15,400	0	15,400
消耗品費	17,605	0	17,605
印刷製本費	16,151	0	16,151
賃借料	32,500	0	32,500
交際費	361,230	0	361,230
支払手数料	912,115	0	912,115
会議費	18,860	0	18,860
雑費	3,366	0	3,366
経常費用計	11,101,720	8,387,926	2,713,794
当期経常増減額	-2,197,601	-2,636,237	438,636
2. 経常外収益の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2,197,601	-2,636,237	438,636
一般正味財産期首残高	9,280,886	8,945,739	335,147
一般正味財産期末残高	7,083,285	6,309,502	773,783
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,000,000	2,000,000	0
指定正味財産期末残高	2,000,000	2,000,000	0
III 正味財産期末残高	9,083,285	8,309,502	773,783

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	内部取引 消去	合 計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	その他 1	その他 2	その他共通	小計			
I 一般正味財産増減の部												
1. 経常増減の部												
(1) 経常収益												
基本財産運用益												
基本財産受取利息					0		300		300			300
受取会費					0				0			0
正会員受取会費	1,625,000	1,000,000	1,000,000	190,000	3,815,000	120,000	100,000		220,000	3,595,000		7,630,000
事業収益					0				0			0
研修会参加費収益		119,000			119,000				0			119,000
会誌広告掲載収益			580,000		580,000				0			580,000
受取補助金等					0				0			0
広島県補助金収益		70,000			70,000				0			70,000
雑収益					0				0			0
受取利息				20	20				0			20
雑収益	210,000	0	0	242,819	452,819				0	51,980		504,799
経常収益計	1,835,000	1,189,000	1,580,000	432,839	5,036,839	120,000	100,300	0	220,300	3,646,980		8,904,119
(2) 経常費用												
事業費												
給与手当				170,000	170,000				0			170,000
福利厚生費				0	0	88,640	0	0	88,640			88,640
旅費交通費	99,900	211,650	0	68,890	380,440				0			380,440
通信運搬費	0	288,530	2,460	0	290,990	0	1,804	0	1,804			292,794
消耗品費	28,580	10,322	0	0	38,902				0			38,902
印刷製本費	24,351	51,509	1,743,800	0	1,819,660				0			1,819,660
賃借料	651,365	257,575	0	0	908,940				0			908,940
諸謝金	0	580,976	0	0	580,976				0			580,976
表彰費				0	0	0	95,965	0	95,965			95,965
支払手数料	1,540	8,752	872	6,542	17,706	555	226	0	781			18,487
支払負担金	30,000	0	0	0	30,000				0			30,000
支払寄附金				0	0	30,000	0	0	30,000			30,000
交際費	0	0	0	53,375	53,375				0			53,375
会議費	0	23,382	0	77,000	100,382				0			100,382
支払会費	0	0	0	232,900	232,900				0			232,900
貸倒会費	0	0	0	140,000	140,000				0			140,000
雑費	28,443	20,438	0	10,000	58,881				0			58,881
70周年記念事業費												
旅費交通費	195,510				195,510				0			195,510
通信運搬費	72,512				72,512				0			72,512
消耗品費	37,770				37,770				0			37,770
印刷製本費	19,440				19,440				0			19,440
広告宣伝費	734,250				734,250				0			734,250
賃借料	669,300				669,300				0			669,300
支払手数料	1,225				1,225				0			1,225
会議費	2,808				2,808				0			2,808
雑費	84,300				84,300				0			84,300
管理費												
給与手当										334,000		334,000
旅費交通費										340,430		340,430
通信運搬費										158,463		158,463
消耗品費										52,461		52,461
修繕費										90,160		90,160
印刷製本費										271,604		271,604
賃借料										143,208		143,208
光熱水料費										54,087		54,087
地代家賃										660,000		660,000
交際費										37,705		37,705
会議費										28,614		28,614
租税公課										21,600		21,600
支払報酬料										579,458		579,458
支払手数料										3,706		3,706
支払寄付金										80,000		80,000
70周年記念事業費												
旅費交通費										8,800		8,800
通信運搬費										15,440		15,440
消耗品費										17,605		17,605
印刷製本費										16,151		16,151
賃借料										35,200		35,200
交際費										361,230		361,230
支払手数料										912,115		912,115
会議費										18,860		18,860
雑費										3,366		3,366
経常費用計	2,681,294	1,453,134	1,747,132	758,707	6,640,267	119,195	97,995	0	217,190	4,244,263		11,101,720
当期経常増減額	-846,294	-264,134	-167,132	-325,868	-1,603,428	805	2,305	0	3,110	-597,283		-2,197,601
2. 経常外収益の部												
(1) 経常外収益												
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用												
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替額												0
当期一般正味財産増減額					-1,603,428				3,110	-597,283		-2,197,601
一般正味財産期首残高					7,025,993				0	1,612,381		9,280,886
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	5,422,565		0	0	645,622	1,015,098		7,083,285
Ⅱ指定正味財産増減の部												
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	0		2,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	2,000,000		2,000,000	0		2,000,000
Ⅲ正味財産期末残高	0	0	0	0	5,422,565	0	2,000,000	0	2,645,622	1,015,098		9,083,285

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産－定率法による。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小 計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
70周年記念事業積立資産	5,000,000	0	3,205,882	1,794,118
75周年記念事業積立資産	0	1,794,118	0	1,794,118
80周年記念事業積立資産	0	300,000		300,000
小 計	5,000,000	300,000	3,205,882	2,094,118
合 計	7,000,000	300,000	3,205,882	4,094,118

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳等

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(一)
小 計	2,000,000	(2,000,000)	(0)	(一)
特定資産				
70周年記念事業積立資産	1,794,118	(0)	(1,794,118)	(一)
75周年記念事業積立資産	1,794,118	(0)	(1,794,118)	(一)
80周年記念事業積立資産	300,000	(0)	(300,000)	(一)
小 計	2,094,118	(0)	(2,094,118)	(一)
合 計	4,094,118	(2,000,000)	(2,094,118)	(一)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
平成29年度医療技術者 研修事業補助金	広島県	0	70,000	70,000	0	—
合 計		0	70,000	70,000	0	

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載しているので省略
2. 引当金の明細
特にありません。

財産目録

令和 2 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	400,219
	預金	普通預金 ゆうちょ銀行	運転資金	79,725
	預金	普通預金 広島銀行 駅前支店	運転資金	2,404,936
	預金	普通預金 三菱UFJ信託銀行 広島中央支店	収益事業等会計（その他の事業 2 横殿賞・石井賞） に使用	71,617
	預金	定期預金 広島銀行 広島東支店	運転資金	1,030,784
	預金	普通預金 広島銀行 駅前支店	運転資金	148,074
	未収会費	会員からの収入	会費未収入金	600,000
	未収入金	広告協賛先	広告協賛先協賛金の未収	30,000
流動資産合計				4,765,355
(固定資産)				
基本財産	定期預金	定期預金 三菱UFJ信託銀行 広島中央支店	基本財産であり、運用益を収益事業等会計（その他の事業 2 横殿賞・石井賞）に使用している。	2,000,000
特定資産	75周年記念事業 積立資産	通常貯金 ゆうちょ銀行 広島貯金事務センター 普通預金 広島銀行 駅前支店	特定費用準備資金として2024年度75周年記念事業事業費への充当を指定して会費収入から積み立てている資産である。共用財産であるため、別表C（5）特定費用準備資金での配賦割合により、下記のとおり按分している。 内¥1,782,885－は公益目的事業会計に按分 内¥11,233－は法人会計に按分	1,794,118
	80周年記念事業 積立資産	通常貯金 ゆうちょ銀行 広島貯金事務センター	特定費用準備資金として2029年度80周年記念事業事業費への充当を指定して会費収入から積み立てている資産である。共用財産であるため、別表C（5）特定費用準備資金で、すべて公益事業会計に配賦	300,000
その他固定資産	敷金	広島市南区松川町1-15 事務所 17.82平方メートル賃借	主たる事務所の敷金 共用財産であるため、使用の割合により下記のとおり按分している。 60%（¥198,000－）は公益目的事業会計に按分 40%（¥132,000－）は法人会計に按分	330,000
固定資産合計				4,424,118
資産合計				9,189,473
(流動負債)	未払金	水料光熱費、通信運搬費、給与手当、手数料	水料光熱費、通信運搬費及び給与手当の未払い（公益目的事業会計）	56,188
		支払手数料	70周年式典イベントキャンセル料（法人会計）	50,000
流動負債合計				106,188
負債合計				106,188
正味財産				9,083,285

監査報告書

令和2年5月17日

公益社団法人広島県診療放射線技師会
会長 今田 直幸 殿

公益社団法人広島県診療放射線技師会
監事 花 本 隆 秀 印略

公益社団法人広島県診療放射線技師会
監事 石 田 順 一 印略

私たち監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査致しました。その方法及び結果について、次のとおり報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びそれらの附属明細書並びに財産目録について検討致しました。

2. 監査意見

（1）事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実認められません。

（2）計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

公益社団法人 広島県診療放射線技師会 令和2年度 事業計画

総 括

日本診療放射線技師会主催の「業務拡大に伴う統一講習会」は、5年間にわたり開催して参りましたが、令和元年度末を持って終了いたしました。今後、診療放射線技師の職域拡大もスピードアップすると思われます。次の業務拡大が何時になるかは明らかではありませんが、「業務拡大に伴う統一講習会」は生涯教育であり、受講していない会員は新たな業務を行うことができないという捉え方をしていただく意識改革が必要と考えます。どうぞご理解をいただけますようお願いいたします。

広島県診療放射線技師会の事業として、基本となる研修会を例年通り年間4回開催いたします。他研修会として、2回の消化管撮影技術研修会、エコー研修会、各支部単位での研修会を開催します。令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のためエコー研修会（3月予定）は見送られましたが、新年度はぜひとも開催したいと考えております。主任・技師長等を対象としたマネジメント研修会も引き続き開催いたします。加えて関連学術団体・研究会等の後援や支援も昨年同様積極的に行います。

一般の県民市民の方々に私どもの活動を発信する場として、市民公開講座・レントゲン週間イベント（シャレオ中央広場等）を開催し、被ばく相談やがん検診促進等の啓発活動を行ってまいります。また、マンモグラフィ撮影を担う我々としては、ピンクリボン活動へも積極的に参加してまいります。広島県主導の「がん検診へ行こうよ」キャンペーンへの参加、広島県医師会主導の「21世紀、県民の健康とくらしを考える会」にも積極的に参画してまいりたいと考えております。

以上

事業項目

1. 公益目的事業

公1. 体験活動・講演・相談等による県民への知識の普及啓発事業

体験活動・相談として公共のスペース（シャレ

オ中央広場・予定）においてレントゲン週間イベントを10～11月頃に開催予定。被ばく相談、乳房検診の啓発活動、骨密度測定体験、各種放射線医療のパネル展示、正しい医療放射線の理解を啓発するパネル展示、広島県「がん検診へ行こうよ」キャンペーンのアピール、等々を企画。

ピンクリボン活動への参加協力として「ピンクリボン de カープ」「ピンクリボン de 広響」等へ参加予定。「21世紀、県民のくらしを考える会」(広島県医師会)への参画協力予定。

公2. 研修、セミナー等による放射線技術学の向上の為の研修事業

- 第1回 令和2年6月28日(日)
広島大学病院 予定
- 第2回 令和2年9月27日(日)
内容は検討中
会場は広島日赤・原爆病院を予定
- 第3回 令和3年1月16日(土)
学術大会(会員発表)、市民公開講座
会場 TKP広島駅前大橋
- 第4回 令和3年2月11日(祝)
福山市医師会館(内容未定)

- (マネジメント研修会)
令和2年10月10日(予定)
- (広島県放射線技師会消化管研修会)
令和2年7月、2021年3月、2回開催予定
- (エコー塾・ハンズオン研修会)
令和2年度 1～2回開催予定
- (MR研修会)
令和3年2月頃(予定)

日本診療放射線技師会からの委託事業

- ・フレッシューズセミナー
令和2年8月30日(日) 広島大学病院
- ・基礎技術講習会(一般撮影)
令和3年2月28日(日) 広島大学病院

公3. 放射線に関する情報を出版等により提供を行う事業

- ・会誌2回発行(春・秋)

- ・ ニュースレターまたはお知らせ 2 ～ 3 回発行の
 予定
- ・ メールマガジンによる研修会等の情報提供（12
 回予定）
- ・ ホームページ上での情報発信

2. 収益事業等

その他の事業

他 1. 会員に対する相互扶助事業
 会員の御祝、お悔やみ、電報、花輪等

他 2. 会員に対する表彰事業

石井賞 1 名

槇殿賞 1 名

奨励賞 5 名

※該当事者がいない場合は、表彰は行わず受賞者
 なしの場合があります。

関連団体との事業に参加・後援予定

- ・ 広島県主催「がん検診に行こうよ」キャンペー
 ンに参加
- ・ 脳を見るシンポジウム三原(県立広島大学主催)
 後援
- ・ 広島国際大学健康フェア 後援
- ・ 「21世紀の県民の福祉と健康を考える会」(広島
 県医師会) 協賛
- ・ ピンクリボンキャンペーン活動広島への参加協
 力
- ・ 広島医療情報システム研究会 後援
- ・ 日本医用画像情報専門技師主催の研修会 後援
- ・ 広島CT技術研究会 後援
- ・ 広島県医療情報技師会研修会 後援
- ・ 広島県臨床工学技士会学術大会 後援
- ・ 広島画像症例研究会 後援

収支予算表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
（1）経常収益			
1 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,000	10,000	0
2 受取会費			
会費収入	7,410,000	7,120,000	290,000
3 事業収益			
会誌広告掲載収益	550,000	550,000	0
研修事業収益		30,000	-30,000
JART収益	125,000	0	125,000
4 受取補助金等			
広島県補助金収益	70,000	70,000	0
5 雑収入			
受取利息	1,000	1,000	0
雑収入	10,000	10,000	0
経常収益計	8,176,000	7,791,000	385,000
（2）経常費用			
事業費			
給与手当	400,000	400,000	0
福利厚生費	125,000	0	125,000
旅費交通費	400,000	250,000	150,000
通信運搬費	352,000	452,000	-100,000
消耗品費	152,000	212,000	-60,000
印刷製本費	1,950,000	1,800,000	150,000
光熱水料費	0	35,000	-35,000
賃借料	900,000	600,000	300,000
諸謝金	900,000	1,100,000	-200,000
広告宣伝費	150,000	335,000	-185,000
地代家賃	495,000	495,000	0
交際費	50,000	50,000	0
諸会費	250,000	200,000	50,000
支払手数料	21,000	21,000	0
支払負担金	320,000	0	320,000
会議費	60,000	60,000	0
租税公課	0	10,000	-10,000
雑費	30,000	40,000	-10,000
70周年記念事業			
福利厚生費	0	90,000	-90,000
旅費交通費	0	300,000	-300,000
消耗品費	0	640,000	-640,000
賃借料	0	650,000	-650,000
諸謝金	0	480,000	-480,000
広告費	0	700,000	-700,000
印刷製本費	0	650,000	-650,000
会議費	0	60,000	-60,000
雑費	0	30,000	-30,000
管理費			
給与手当	130,000	130,000	0
福利厚生費	0	10,000	-10,000
旅費交通費	300,000	350,000	-50,000
通信運搬費	100,000	100,000	0
消耗品費	100,000	150,000	-50,000
修繕費（会計ソフト保守費）	60,000	0	60,000
光熱水料費	45,000	0	45,000
賃借料	120,000	50,000	70,000
諸謝金	50,000	100,000	-50,000
地代家賃	165,000	165,000	0
交際費	50,000	100,000	-50,000
会議費	50,000	50,000	0
租税公課	25,000	25,000	0
支払報酬料	600,000	0	600,000
雑費	10,000	10,000	0
70周年記念事業			
旅費交通費	0	70,000	-70,000
印刷製本費	0	70,000	-70,000
消耗品費	0	70,000	-70,000
賃借料	0	280,000	-280,000
諸謝金	0	140,000	-140,000
会議費	0	30,000	-30,000
交際費	0	700,000	-700,000
雑費	0	40,000	-40,000
経常費用計	8,360,000	12,300,000	-3,940,000
評価損益等調整前当期経常増減額	-184,000	-4,509,000	4,325,000
2. 経常外収益の部			
（1）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（2）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	-184,000	-4,509,000	4,325,000
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-184,000	-4,509,000	4,325,000

収支予算内訳表

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで（単位：円）

科 目	公益事業等会計					収益事業等会計				法人会計	合計予算額	内部取引 消去
	公 1	公 2	公 3	公益共通	小 計	その他1	その他2	その他共通	小 計			
I 一般正味財産増減の部												
1 経常増減の部												
（1）経常収益												
1 基本財産運用益												
基本財産受取利息					0		10,000		10,000		10,000	
3 受取会費												
会費収入				4,605,000	4,605,000	500,000	150,000	350,000	1,000,000	1,805,000	7,410,000	
4 事業収益												
会誌広告掲載収益			550,000		550,000				0		550,000	
JART収益				125,000	125,000				0		125,000	
5 受取補助金等												
広島県補助金収益		70,000			70,000				0		70,000	
6 雑収入												
受取利息				1,000	1,000				0		1,000	
雑収益				10,000	10,000				0		10,000	
経常収益計	0	70,000	550,000	4,741,000	5,361,000	500,000	160,000	350,000	1,010,000	1,805,000	8,176,000	
（2）経常費用												
事業費												
給与手当				400,000	400,000				0		400,000	
福利厚生費					0	125,000			125,000		125,000	
旅費交通費	100,000	100,000		200,000	400,000				0		400,000	
通信運搬費		150,000	100,000	100,000	350,000	2,000			2,000		352,000	
消耗品費	100,000				100,000	2,000	30,000	20,000	52,000		152,000	
印刷製本費	50,000	200,000	1,700,000		1,950,000				0		1,950,000	
賃借料	500,000	400,000			900,000				0		900,000	
諸謝金	50,000	700,000		150,000	900,000				0		900,000	
広告宣伝費				150,000	150,000				0		150,000	
地代家賃				495,000	495,000				0		495,000	
交際費				50,000	50,000				0		50,000	
諸会費				250,000	250,000				0		250,000	
支払手数料	5,000		5,000	10,000	20,000	1,000			1,000		21,000	
支払負担金					0	250,000	70,000		320,000		320,000	
会議費				60,000	60,000				0		60,000	
雑費	10,000			20,000	30,000				0		30,000	
管理費												
給与手当										130,000	130,000	
旅費交通費										300,000	300,000	
通信運搬費										100,000	100,000	
消耗品費										100,000	100,000	
修繕費（会計ソフト保守費）										60,000	60,000	
光熱水料費										45,000	45,000	
賃借料										120,000	120,000	
諸謝金										50,000	50,000	
地代家賃										165,000	165,000	
交際費										50,000	50,000	
会議費										50,000	50,000	
租税公課										25,000	25,000	
支払報酬料										600,000	600,000	
雑費										10,000	10,000	
経常費用計	815,000	1,550,000	1,805,000	1,885,000	6,055,000	380,000	100,000	20,000	500,000	1,805,000	8,360,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	-815,000	-1,480,000	-1,255,000	2,856,000	-694,000	120,000	60,000	330,000	510,000	0	-184,000	
2. 経常外収益の部												
（1）経常外収益					0				0	0	0	
経常外収益計					0				0	0	0	
（2）経常外費用					0				0	0	0	
経常外費用計					0				0	0	0	
当期経常外増減額	-815,000	-1,480,000	-1,255,000	2,856,000	-694,000				510,000	0	-184,000	
他会計振替額	0	0	0	0						0	0	
当期一般正味財産増減額					-694,000				510,000	0	-184,000	

定款変更について

本会理事会の議事録を作成するにあたり、一昨年度定款の変更を行ったものの文言に不備がありました。そこで今回再度、司法書士法人と協議し文言の追加を行いたいと考えます。

本来の目的は、議事録作成に参加理事全員の印鑑押印が必要、等の手続きを簡略化するためです。事務処理の効率化を図るために重要と考えます。

本変更にご理解いただきご承認をいただけますようお願い申し上げます。

定款

第6章 理事会

（議事録）37条

[現行]

- 3 議事録には、議長、出席した理事のうちから選出された議事録署名人2人及び監事が記名押印しなければならない。

↓

[変更後]

- 3 議事録には、出席した代表理事、理事のうちから選出された議事録署名人2人及び監事が記名押印しなければならない。

（注：アンダーラインが変更の必要な箇所）

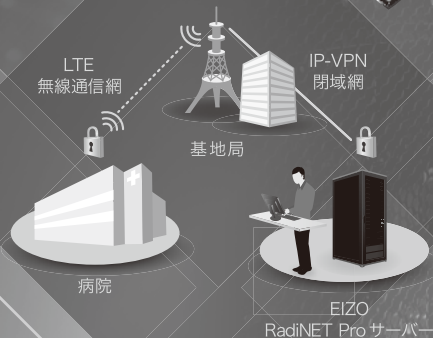
病院に最適なモニター品質管理の手法とは？

院内にモニター管理用のサーバーを導入し、自ら運用・保守を行うには費用と労力が発生します。

EIZOは、インターネットとは隔離されたセキュアな閉域網でサーバーと安全に接続し、プロのサポートを味方に、モニター品質管理を安心運用できるサービスをご提案します。

RadiNET[®] Pro Guardian

モニター品質管理トータルケア



Making Each Life Visual



EIZO株式会社

www.eizo.co.jp

本社 〒924-8566 石川県白山市下柏野町153番地

ヘルスケア営業部(東京) 03-5764-3403

札幌 011-737-6601 仙台 022-212-8751 結屋 052-232-7701 北陸 076-277-6790

大阪 06-4807-7707 広島 082-535-7701 高松 087-869-0877 福岡 092-715-7706



hvc
human health care

患者様の想いを見つめて、 薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。

病気とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。

私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、

そのぶん、患者様の想いにまっすぐ向き合いたいと思います。

治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。

病気を見つめるだけでなく、想いを見つめて、薬は生まれる。

「ヒューマン・ヘルスケア」。それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ



エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病制圧活動を支援しています。

Canon

ADCT、 次世代のスタンダード。

その先端を駆けるものには、人を想う技術が息づいている。

キーワードは、「洗練」。ガントリ高が、ほぼ等身にまでダウンサイジングされた筐体は、Area Detector CTとは思えないほど、小さく、美しく。

これまでのAquilion ONEの進化の軌跡、傑出した機能を内に秘めながらも、医療施設のワークスペースで、患者さんとスタッフの心と体に、優しく自然に調和する、しなやか存在感——。

Aquilion ONEが、2007年に世界初の320列・16cm検出器幅のArea Detector CTとして誕生してから、10年が過ぎました。

累計販売台数1500台以上、世界中の医療現場に磨き上げられた「洗練」が、次世代ADCTのあるべきカタチとして結実し、いま、みなさまの前に姿を現しました。

1回転で、脳や心臓などの臓器全体が撮影でき、臓器や関節などの動態そのものを可視化するADCT。

その優れた臨床価値をさらに、1カ所でも多くの施設でお役立ていただけることを願い、装置性能の飛躍はもちろん、省スペース、使いやすさの向上、安心と安全への一層の配慮など、ディティールまでを徹底して研ぎ澄まし、人を想う技術で一つひとつ積み重ねました。

次世代のスタンダードCTとして、世界が目にする、ADCT。

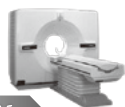
その最先端で進化をつづけるAquilion ONEの新たな機能と存在感をどうぞ、お確かめください。

ONETM Aquilion

全身用X線CT 診断装置
CTスキャナ Aquilion ONE TSX-305A
認証番号: 227ADBZX00178000



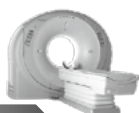
1978



1985



1993



1998



2004



2007

2019

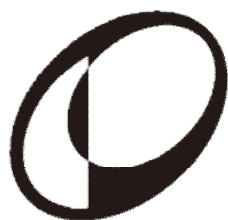
キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

医療機器、理化学機器の総合商社

明日を拓き、夢をはぐくむ。

私たちは、健康文化の創造、発展のためいつも挑戦を続けています。



KYOWA

共和医理器株式会社



FS516014/ISO 9001:2015
MD516015/ISO13485:2016

本社	〒721-0961	広島県福山市明神町二丁目12番15号	TEL 084-924-3108	FAX 084-924-3749
福山支店	〒721-0961	広島県福山市明神町二丁目12番15号	TEL 084-924-3108	FAX 084-924-3749
広島支店	〒733-0833	広島市西区商工センター二丁目1番2号	TEL 082-270-1520	FAX 082-270-1553
愛媛支店	〒791-1115	愛媛県松山市土居町1118-1	TEL 089-905-7710	FAX 089-905-7711
松山営業所	〒791-1115	愛媛県松山市土居町1118-1	TEL 089-905-7710	FAX 089-905-7711
今治営業所	〒794-0823	愛媛県今治市郷本町一丁目3番58	TEL 0898-34-3350	FAX 0898-34-3351
岡山営業所	〒700-0975	岡山市北区今8丁目13-13	TEL 086-246-6311	FAX 086-246-6310
営業本部	〒733-0833	広島市西区商工センター二丁目1番2号	TEL 082-270-1510	FAX 082-277-1665

地域の健康と共に歩む

医療器械全般 理化学器械 ME器械 病院設備機械



五洋医療器株式会社

本社	〒721-0961	福山市明神町二丁目2番30号	TEL(084)926-5050
福山営業所			FAX(084)926-5032
三原営業所	〒723-0051	三原市宮浦四丁目3番1号	TEL(0848)63-3352
			FAX(0848)62-6996
広島営業所	〒730-0048	広島市中区竹屋町7番26号	TEL(082)207-2525
		第2間ビル	FAX(082)207-2526

◆機器のご更新等のご用命がございましたら遠慮なくお申し付けください◆

GE Healthcare



Partners for Better Health Helping You Achieve Desired Outcomes

先生方が求めるアウトカム（結果）を達成するための
パートナーとなるべく 全力を尽くします

患者満足向上

INCREASE PATIENT
SATISFACTION

卓越した臨床

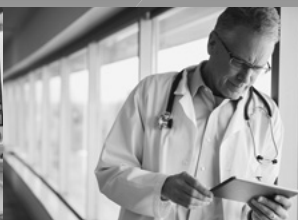
ACHIEVE CLINICAL
EXCELLENCE

検査効率の改善

IMPROVE OPERATIONAL
EFFICIENCY

持続可能性を推進

DRIVE
SUSTAINABILITY



患者さまのための臨床上の有用性、オペレーション効率、経営改善…

GEは、お客さまが求めるさまざまな成果を実現する、先進的な画像診断技術とソリューションをお届けします

皆さまと共に、GEの技術で医療の未来を切り拓く

GE ヘルスケア



で検索

JB57808JA

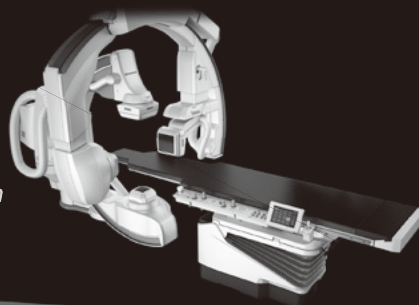
Shaping the future of healthcare

Siemens Healthineersは、これからの医療サービスの中核になるのは、新たなバリューであると考えています。プレジジョン・メディシンを拡充し個別化医療を進めること、医療サービスの提供方法そのものを変革していくこと、ペイシエント・エクスペリエンスの質を高め、家族の満足度にも配慮すること。さらに、医療のデジタル化を強力に推し進めることで、健康と医療の本質を変えること。これらバリュー向上を通して、医療に携わる方々が、これまで以上に優れた医療サービスを低コストでご提供できるよう取り組んでいます。

www.siemens-healthineers.com/jp

SIEMENS
Healthineers

Trinias series *unity* edition



Trinias が
新たなクオリティを手に入れその存在を超える。
それは血管撮影システムに
次なる道が開ける瞬間。



Trinias series *unity* smart edition

株式会社 島津製作所 医用機器事業部

製造販売認証番号：224ABBZX00053000



With Your Stories
lifetime healthcare support

放射線の安全利用をトータルサポート





ニプロは、います。
世界のみんなの命のそばに。



新領域に果敢に挑み、
さらに多くの人々に信頼される **NIPRO** をめざしています。

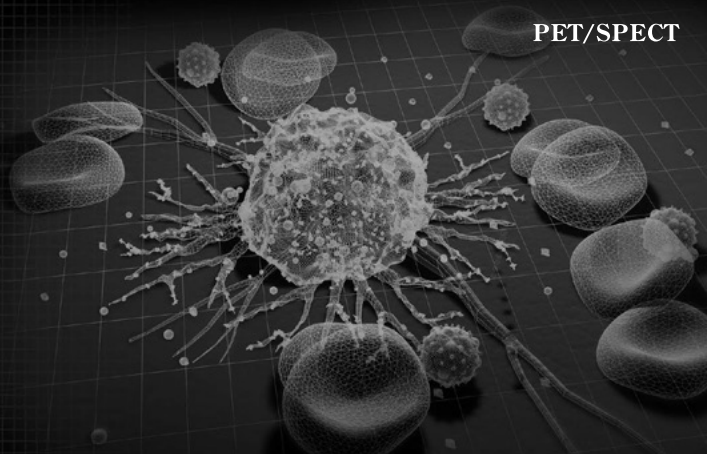
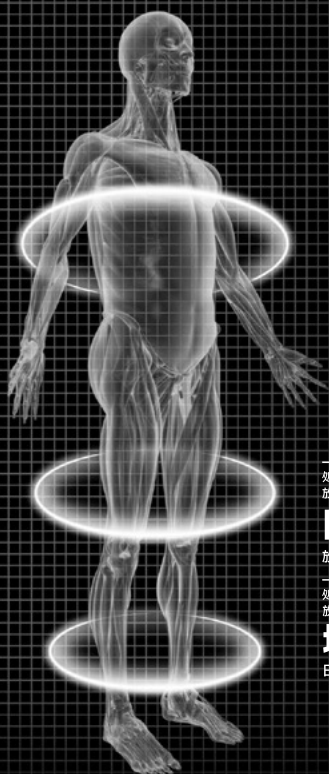
Medical supplies for the world population

ニプロ株式会社

〒531-8510 大阪市北区本庄西3丁目9番3号

2015年7月作成

nihon
medi+physics



処方箋医薬品[®]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬・虚血性心疾患診断薬・てんかん診断薬

【保険適用】

FDGスキャン[®]注

放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F) 注射液

処方箋医薬品[®]
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・副甲状腺疾患診断薬・腫瘍（脳・甲状腺・肺・骨・軟部・縦隔）診断薬

【薬価基準収載】

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP

日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl) 注射液

処方箋医薬品[®]
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬・炎症性病変診断薬

【薬価基準収載】

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP

日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga) 注射液

処方箋医薬品[®]
放射性医薬品・骨疾患診断薬

【薬価基準収載】

クリアボーン[®]注

放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム(^{99m}Tc)注射液

®:登録商標

注)注意・医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。



資料請求先

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号

製品に関するお問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。

<http://www.nmp.co.jp>

2016年3月改訂



資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

環状型非イオン性 MRI 用造影剤〈ガドブトロール注射液〉

ガドビスト[®] 静注1.0mol/L 2mL
シリンジ5mL/7.5mL/10mL

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

※効能・効果、用法・用量、警告、禁忌、原則禁忌を含む使用上の注意につきましては製品添付文書をご参照ください。

L.JP.MKT.RI.04.2018.1870

2018年8月作成

HITACHI
Inspire the Next

NEW

3T MRIの世界を変える。

TRILLIUM OVAL Cattleya

被検者にも、操作者にもやさしいMRI。
美しい大輪の花を咲かせる「Cattleya (カトレア)」の名を冠した
ニューモデルが、3T MRIの新たな世界を切り拓きます。

販売名：日立MRイメージング装置 TRILLIUM OVAL
医療機器認証番号：第225ABBZX00066000号

©TRILLIUM OVAL CattleyaはTRILLIUM OVALのMRI用システムソフトウェア ORIGIN C搭載モデルの呼称です。

Innovating Healthcare, Embracing the Future

 **株式会社 日立製作所**
www.hitachi.co.jp/healthcare

PHILIPS

Ingenia Elition 3.0T

A revolutionary breakthrough in diagnostic quality and speed

MRI検査の質と検査スピードの追及が
患者の診療と医療従事者の環境改善をサポートします

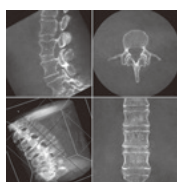
innovation  you

株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

Ingenia Elition 3.0T 超電導磁気共鳴画像診断装置

販売名: フィリップス Elition 3.0T
医療機器認証番号: 230ACBZX00009000
設置管理医原機部 / 特定保守管理医原機部
管理医原機部
記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. の
商標または登録商標です。
© 2018 Philips Japan, Ltd.

FUJIFILM
Value from Innovation



COREVISION 3D PREMIUM MOBILE C-ARM NEW

- 31×31cm のスクエア大画面FD
- 180°相当の「Smart Scan」による3D画像生成
- 高画質・低線量、FUJIFILM FD Low-Dose Solutions
- 新X線動画処理エンジンDCE(ダイナミックコアエンジン)を搭載
- 25 kWの大容量出力
- 長時間撮影を可能にするAdvanced Active Cooling



Core System, Clear Vision.



COREVISION LD

「ダイナミックコアエンジン」を搭載、
外科用Cアームのスタンダードモデル



COREVISION SD

モニター一体型で省スペースを実現した
オールインワンモデル

COREVISION 3D (販売名: X線透視診断装置) CoreVision 3D 認証番号: 第230ABBZX00033000号)
COREVISION LD (販売名: X線透視診断装置) CoreVision LD 認証番号: 第230ABBZX00037000号)
COREVISION SD (販売名: X線透視診断装置) CoreVision SD 認証番号: 第230ABBZX00038000号)

富士フイルムメディカル株式会社 〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フイルム西麻布ビル tel.03-6419-8033 (代) <http://fms.fujifilm.co.jp>

FUJIFILM
Value from Innovation

処方箋医薬品^注

薬価基準収載

非イオン性尿路・血管造影剤
イオプロミド注「FRI」



イオプロミド300注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド370注「FRI」 20mL・50mL・100mL

イオプロミド300注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

イオプロミド370注シリンジ「FRI」 50mL・80mL・100mL

Iopromide Injection FRI・Iopromide Injection Syringe FRI

イオプロミド注射液

^注 注意—医師等の処方箋により使用すること

- 「警告」、「禁忌」、「原則禁忌」、「効能又は効果」、「用法及び用量」、「使用上の注意」等につきましては、製品添付文書をご参照ください。

製造販売元

富士フイルム 富山化学株式会社

資料請求先：〒104-0031 東京都中央区京橋 2-14-1 兼松ビル
ホームページ：http://ficc.fujifilm.co.jp

TEL 03(5250)2620

輸入先



バイエル社
(ドイツ連邦共和国)

2018年10月作成

薬価基準収載 処方箋医薬品

硫酸バリウムX線造影剤

バリコンミール[®]

硫酸バリウム散
98.8%「ホリイ」

硫酸バリウム散
97.5%「ホリイ」

X線二重造影用発泡剤

バロス発泡顆粒

バロス発泡顆粒-S

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書を参照してください。

胃・腸の診断を通じて奉仕する



堀井薬品工業株式会社

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1丁目2番6号

TEL 06-6942-3481 (代) FAX 06-6942-1505

資料請求先：安全性情報部
0120-010-320 http://www.horii-pharm.co.jp

2015年3月作成

